

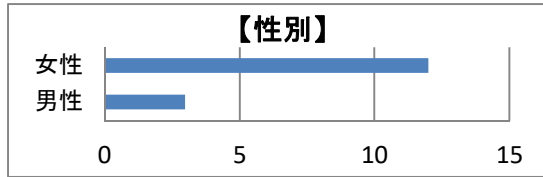
# 介護職のための実践研修会(アンケート結果及びGWの内容)

日時:平成28年8月21日(日) 時間:10:00~11:45

参加数:15人 (+講師・ファシリテーター含むスタッフ5人) アンケート回収率 100%

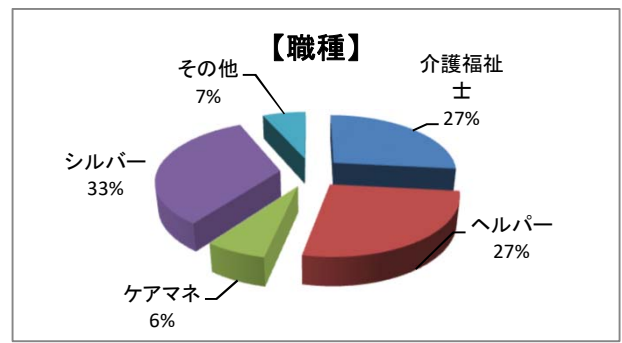
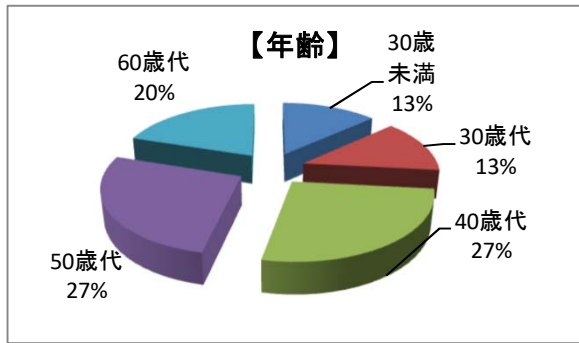
1

性別	
男性	3
女性	12

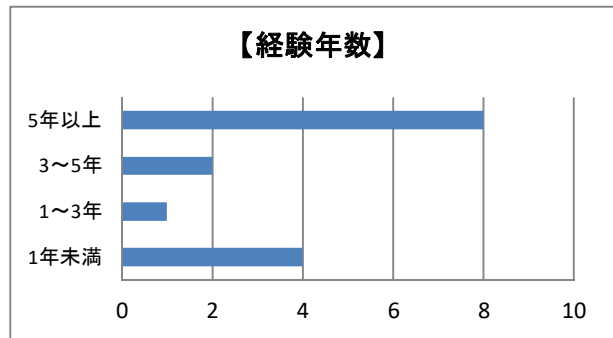


年齢				
30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
2	2	4	4	3

職種				
介護福祉士	ヘルパー	ケアマネ	シルバー	その他
4	4	1	5	1

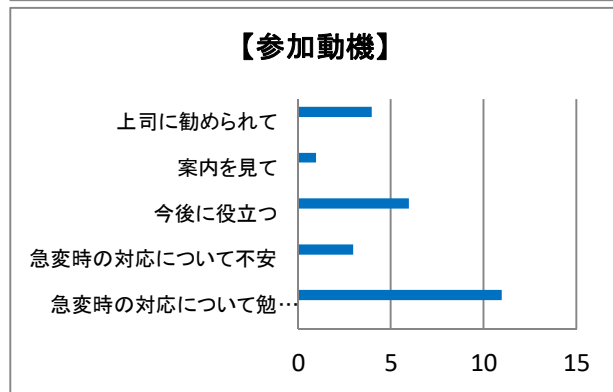


経験年数(現職)			
1年未満	1~3年	3~5年	5年以上
4	1	2	8



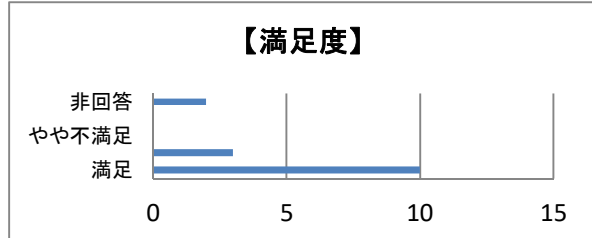
2

参加動機 (複数回答)	
急変時の対応について勉強したい	11
急変時の対応について不安	3
今後に役立つ	6
案内を見て	1
上司に勧められて	4
友人に誘われて	0
ただ何となく	0



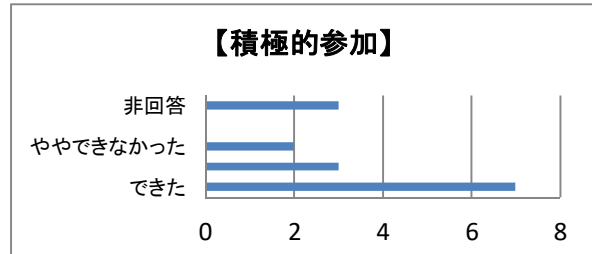
3

研修満足度				
満足	やや満足	やや不満足	不満足	非回答
10	3	0	0	2

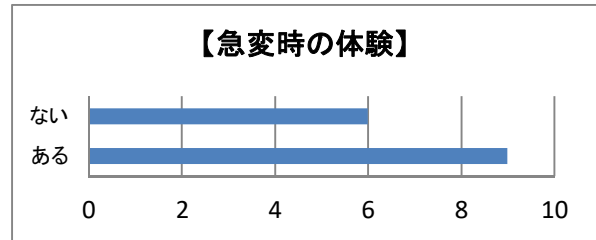


4

GWには積極的に参加できたか				
できた	ややできた	ややできなかった	できなかった	非回答
7	3	2	0	3



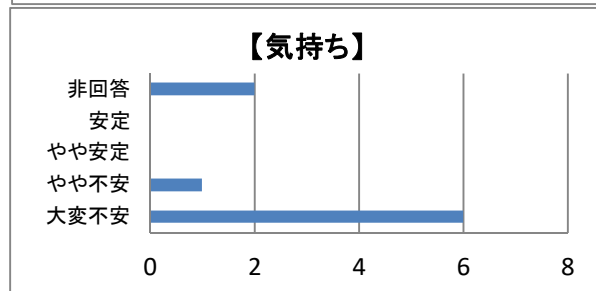
急変時の体験	
ある	ない
9	6



6 急変時の体験が「ある」と回答した方へ

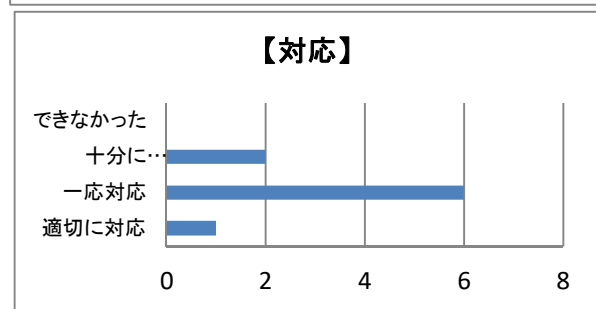
1) その時の気持ち

大変不安	やや不安	やや安定	安定	非回答
6	1	0	0	2



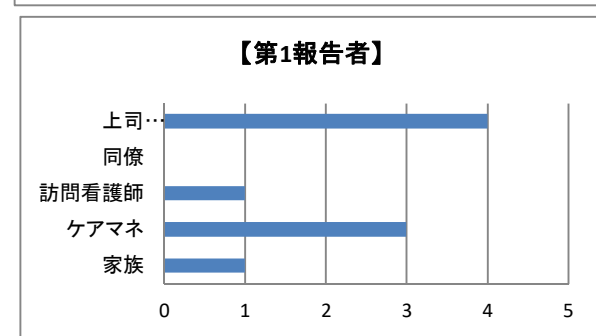
2) その時の対応

適切に対応	一応対応	十分にできなかった	できなかった
1	6	2	0



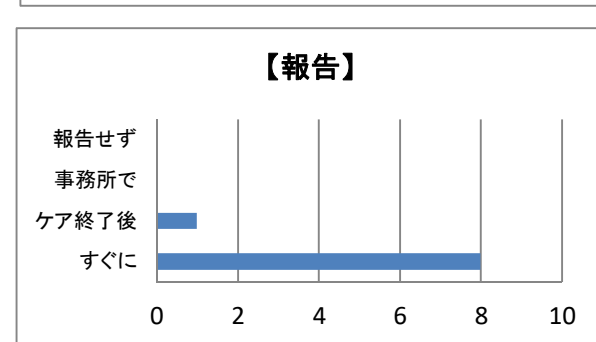
3) 第1報告者

家族	ケアマネ	訪問看護師	同僚	上司(リーダー)
1	3	1	0	4



4) 報告のタイミング

すぐに	ケア終了後	事務所で	報告せず
8	1	0	0



### ○研修満足度の意見

- ・ いろいろな事情が聞けてよかったです。
- ・ 経験された事例などの話を聞き大変良かったです。まだ2回の独居の方の訪問で、いい勉強ができました。
- ・ 質問事項に応じて頂ける時間が少し少なかった。  
色々な体験が聞けた。
- ・ 介護を含めたお家に家事援助に従事する事が多いが実際、実態が知らされていないことが多く、現場の話は勉強になりました。
- ・ 色々な方からの意見、経験を聞かせて頂く事ができた。

### ○グループワークに積極的に参加できたか

- ・ 各、参加者の体験を共有できてとてもよかったです。
- ・ 事例がすぐに出せなかった。
- ・ 少ない人数でしたが十分に話し合いができました。
- ・ 話しが高度すぎるが、違う目線から聞いてくださり、普段思っている事も丁寧に答えてもらえました。介護をしないとはいえ、生活に関わる事は(就業中にあり得る話)会員さんの不安を改めて知りました。
- ・ 自分が不安に思う事や、思ったことを発言できた。

## ○ご意見、ご感想、研修会の希望など

- ・ 分かり易くてよかったです。
- ・ 本当にありがとうございました。
- ・ 記録、連携と知識、必要と感じます。単に清掃の仕事と思っている、独居の方だとどんな状況になるかわからない会員から連絡があった時に職員として判断できるように知識を深めたいと思う。
- ・ 大変良い機会を与えて頂きありがとうございました。会員にも知って貰わないといけないと思いました。
- ・ 次の人に伝える事(連携)の大切な意味がよく分かりました。実践されている方が広く受講される事を望みます。
- ・ 色々な事案や意見を交換するととても良い機会になりました。有難うございます。
- ・ 報告、連携、記録、状況把握の大切さを感じました。そのためにも日々の状態の観察が必要であると気づきました。
- ・ 実践に役立つような研修でした。

## 「どんな時、困ったかを共有」

### 《1グループ》

- ・ 肺疾患の方、バイタルサインは著変ないが食欲↓活気↓ →結果、肺炎だったというケース
- ・ 喘鳴↑で内服でも改善がみられないケース
- ・ 通所なので、CMや家族への連絡（連携が有無で対応が違う）
- ・ 訪問CWの異常の発見・察知の難しさ（夏場であれば脱水など、喘鳴時の食事介助）
- ・ Dr. の見解、判断の違いの難しさ
- ・ 息子と本人の2人暮らしのケースで、ごみが多くヘルパーだけではどうしようもできない生活支援面でのアプローチ・衛生面でのアプローチは？
- ・ 「本人」を支援というより、「一家」を支援しなければというケース
- ・ 総合事業の「家事援助」で入っているが、どこまで体調・健康面をみるのか
- ・ 訪問CW向けの医療面の観察ポイントなどはどこでどう勉強するのか
- ・ 訪問CW自身の力量さがあるので、+αの視点が求められる
- ・ 独居の人で体調不良時「デイサービス」か「自宅」かどちらがよいのか

### 《2グループ》

- ・ 食事介助中にムセがあるので、誤嚥・窒息しないかと常に不安である  
家族に確認するも「大丈夫」と言われてしまいどうすればいいのか
- ・ 2回ほど訪問時に急変を経験しているが、とにかくパニックで頭の中が真っ白になる  
冷静になるようにと思うが無理。その時は事業所から近くの現場だったので、すぐに事業所に連絡（マニュアル通り）し応援が来てくれたのでよかったが、遠方の場合、到着までの間どうしていればいいのか
- ・ 事前に情報を得ておくが、(病歴などの)いざというときわからなくなってしまう
- ・ 救急車を要請した場合、通報してから到着までがとても長く感じる。電話でのやりとりも長すぎる  
どうにかならないのか。その間に何もできなかった。
- ・ いろいろな急変(血圧低下、熱発など)があるが、とにかく上司に相談し、指示に従っている  
今の所大丈夫だが、そういったすぐに相談できる人がいなかった場合不安。
- ・ 高齢者なので、転倒しただけでも骨折しているかもしれないし、すぐに救急要請でいいのか。

### 《3グループ》

- ・ 食事にむせたりする方(食事、水分などはトロミをつけている)  
炊き込みごはんをのどに詰まらせてしまった。(この時は咳き込み自分で吐き出せた)  
色々な処置があるがどのような対処をすればよかったのか  
自分で食事されると、かき込んで食べる時がある。  
→詰まる回数を減らす→何度も声掛けして自分で気を付けてもらう
- ・ 暑いので体温が上がっている。スポーツドリンクなど補水液を補給していただく場合  
糖尿病や高血圧症、カロリーコントロール中の方の場合どうすればいいのか  
スポーツドリンク?お茶?
- ・ 60歳男性 パーキンソン病で固まっていた。打ち合わせの訪問時は大丈夫だったのに  
当日訪問したところ、ユニットバスのトイレで固まっておられた。夜から訪問した13:00まで  
その時は、会員2名と職員1名がいたので何とかトイレから出てもらい意識はしっかりしていたので、水分をとってもらった。  
CMへ連絡しても連絡つかず事業所に連絡しても担当ではないので普段の様子がわからないから  
何とも言えないと…。やっとCMと連絡がつき、かけつけてくれてから救急車を呼んだ。
- ・ 情報共有(どのような職種が訪問に入っているのか知っておく)